

令和3年度（2021年度）森林環境譲与税使途（熊本県御船町）

御船町では、森林経営管理意向調査を別図1のように10ヶ年計画で行うことにしています。

令和3年度譲与税額 9,718,000円

内訳として

1、意向調査の準備作業 506,000円

今後の森林管理等に必要な機械やデータの保守を行いました。

2、森林の境界整備事業 1,815,000円

森林の境界を現地で確認・明確化するための立会や杭打ち、所有界の測量を行いました。実績：120ha 写真 1

3、意向調査事業

地区説明会を行った後に森林所有者へのアンケート調査を行いました。実績：113ha

4、私有林整備 6,331,000円

木材として利用できない人工林において自ら管理、整備が困難な箇所の間伐を行いました。
図2 実績：17.71ha 写真 2

5、担い手確保 953,000円

林業従事者の安全装備品、蜂対策用品の購入に必要なものの補助及び林業事業体が新たに雇用したもののための奨励金の支払いを行いました。実績：4事業体22名 写真 3

6、ものづくり 113,000円

幼児・小学生親子を対象に木材の良さを知っていただくためのイベントを開催しました。
実績：2回 51名の参加 写真 4

* 森林環境譲与税導入の効果

森林地区の大部分が地籍未了の状況であるが、譲与税の導入により徐々にではあるが、森林境界の明確化が図られています。
また、意向調査で得た情報を基に、森林の有する公益的機能の発揮及び山地災害の抑止を目的とした、手入れが困難な森林の整備に取り組むことができました。また、林業事業体、従事者に対する安全装備品等の購入に対する補助や雇用奨励金の支給を行い担い手対策に役に立てることができました。それと幼児、小学生親子を対象とした県産木材を使った木のおもちゃ作りで木の良さを体験でき普及啓発にも役に立てることができました。



写真1 境界測量の様子

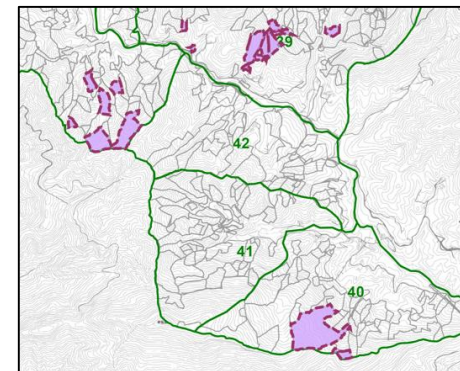


図2 私有林整備箇所



写真2 間伐しゅん工検査

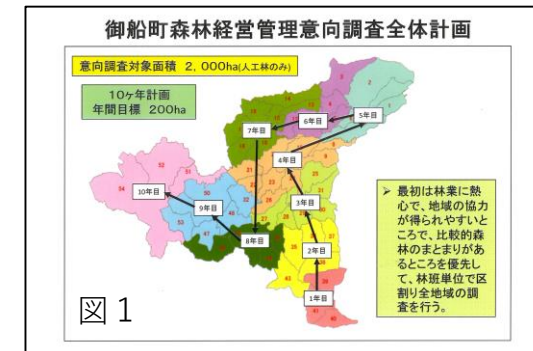


写真3 安全装備購入



写真4 ものづくり